



平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 9 日

上場会社名 ラサ工業株式会社

（コード番号：4022 東証第一部）

（URL <http://www.rasa.co.jp/>）

代表者 代表取締役社長 大井 厚博

問合せ先責任者 経理部長 小野 茂夫

TEL (03) 3278 3892

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

（内容）固定資産の減価償却の方法および法人税等の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨表示）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	19,300	0.3	1,040	41.1	933	42.0	457	50.2
17 年 3 月期第 3 四半期	19,240	6.6	1,765	-	1,609	-	919	-
（参考）17 年 3 月期	26,420		2,448		2,240		1,215	

	1 株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18 年 3 月期第 3 四半期	6.60	-
17 年 3 月期第 3 四半期	13.25	-
（参考）17 年 3 月期	17.52	-

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第 3 四半期（平成 17 年 4 月～12 月）の国内経済は、原油価格をはじめとする原材料価格の高騰、豪雪など異常気象による影響が懸念されたものの、民間設備投資が堅調に推移し、雇用情勢も徐々に改善が見られたことなどから、総じて景気は回復基調で推移しました。

このような状況のなか、当期間における当社グループの概況は、次のとおりとなりました。

化成事業につきましては、燐酸などの燐系製品は、半導体・液晶メーカーの回復を受け I T 向け高純度燐酸の販売数量が伸張し増収となりました。しかしながら、原料である黄燐価格の値上がりにより一部製品が対応しきれないこと、また原価増もあり、収益面では低調に推移いたしました。一方、水処理用凝集剤や、コンデンサー向け原料などは、好調裡に推移いたしました。

機械事業につきましては、公共投資の低迷による厳しい状況が継続しております。このような環境下、破碎機械・ゴミ処理関連機械については、消耗部品に僅かながら底打ち感も見られ、また減収傾向に歯止めをかけるべく建設廃材処理など民間向け単体機器の販売に注力しました。下水道関連の掘進機については、国内にあっては工事件数の減少と競争激化による価格の低迷により底這い状況が継続しているものの、海外向けには若干の明るさが見られました。しかしながら精密機械加工も含め総じて軟調で、減収となりました。

電子材料事業につきましては、テスト用シリコンウェハの再生事業は、デバイス・電子部品業界からの需要拡大により、8 インチ（200mm）以下および 12 インチ（300mm）ともに期の後半から増加傾向に転じて増収となりました。しかしながら 12 インチを中心に、当初計画した数量までは達しませんでした。また化合物半導体向け原料は回復基調にはあるものの、I C 用塗布材ともども競争激化の影響もあり、若干の減収となりました。

この他、石油精製用触媒の再生事業は、後半に入り生産数量を伸ばしてまいりましたが、前年対比では減収となり、不動産の賃貸は横這いで推移しました。

これらをあわせた当第3四半期の当社グループの連結売上高は、193億円と前年同期と比較し、59百万円の増収となりました。しかしながら営業利益は、10億40百万円と前年同期と比較し7億25百万円の減益となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	43,186	12,637	29.3	181.99
17年3月期第3四半期	40,838	11,976	29.3	172.69
(参考)17年3月期	40,819	12,599	30.9	181.69

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

平成18年3月期業績予想については、平成17年11月17日付予想を次のとおり修正いたします。

(1) 連結業績予想(単位:百万円)

通 期	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回予想(A)	27,500	1,900	950
今回予想(B)	26,500	1,600	800
増減額(B-A)	1,000	300	150
増減率(%)	3.6%	15.8%	15.8%

(2) 単独業績予想(単位:百万円)

通 期	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回予想(A)	25,000	1,800	900
今回予想(B)	24,500	1,500	750
増減額(B-A)	500	300	150
増減率(%)	2.0%	16.7%	16.7%

(3) 修正理由

電子材料のテスト用シリコンウェハ―再生事業においては、12インチ専用工場の増設という能力増強投資を行い、あわせて人の採用も先行して実施しました。第1四半期を中心に上期はデバイス・電子部品業界の在庫調整の余波を受け、入荷数量は計画よりも低調でありましたが、直近は活況を呈してきております。しかしながら、新工場のフル稼働のためには生産設備・人とも馴染みと一定の習熟期間が必要であります。現時点ではまだ十分な水準に達しておりません。新工場の出荷量は徐々に上がりつつありますが、当期間においては需要に対応しきれず、売り上げ・収益とも計画を下回る状況にあります。

また、化成品事業の主力製品である磷酸の主原料(黄磷)は、全量中国からの輸入品であります。中国の電力事情から価格が急騰しました。最近はやや落ち着きつつありますが、高い原料を払い出している状況が続いていることに加え、一部製品の販売価格がこの高騰に対応しきれないものもあり収益面で苦戦いたしました。

これらを主要因として、当期業績については、前回予想に比べ、減収・減益となる見通しであります。

なお、上記の予想は現時点において入手可能な情報および見通しに基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期末 (平成17年12月31日現在)		前第3四半期末 (平成16年12月31日現在)		前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産	17,119	39.6	16,908	41.4	17,446	42.7
1 現金及び預金	3,427		3,976		4,495	
2 受取手形及び売掛金	8,394		8,375		8,359	
3 たな卸資産	3,661		3,949		3,272	
4 その他	1,636		607		1,319	
固定資産	26,067	60.4	23,929	58.6	23,373	57.3
1 有形固定資産	19,624		18,504		17,196	
2 無形固定資産	1,073		1,093		1,086	
3 投資その他の資産	5,368		4,331		5,090	
資産合計	43,186	100.0	40,838	100.0	40,819	100.0
(負債の部)		%		%		%
流動負債	18,536	42.9	19,510	47.8	19,683	48.2
1 支払手形及び買掛金	4,337		4,287		4,190	
2 短期借入金	10,434		10,632		10,653	
3 その他	3,764		4,590		4,839	
固定負債	12,013	27.8	9,351	22.9	8,536	20.9
1 長期借入金	9,528		7,130		6,249	
2 その他	2,484		2,221		2,287	
負債合計	30,549	70.7	28,861	70.7	28,219	69.1
(少数株主持分)						
少数株主持分	-	-	-	-	-	-
(資本の部)						
資本金	6,230	14.4	6,230	15.3	6,230	15.3
資本剰余金	3,516	8.2	3,516	8.6	3,516	8.6
利益剰余金	2,465	5.7	2,057	5.0	2,354	5.8
その他有価証券評価差額金	450	1.1	192	0.5	523	1.3
為替換算調整勘定	0	0.0	2	0.0	5	0.0
自己株式	25	0.1	19	0.0	19	0.1
資本合計	12,637	29.3	11,976	29.3	12,599	30.9
負債、少数株主持分 及び資本合計	43,186	100.0	40,838	100.0	40,819	100.0

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期		前第3四半期		前連結会計年度	
	(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)		(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
高 上 売	19,300	100.0	19,240	100.0	26,420	100.0
原 価	14,181	73.5	13,374	69.5	18,565	70.3
総 利 益	5,118	26.5	5,866	30.5	7,855	29.7
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	4,078	21.1	4,100	21.3	5,407	20.4
営 業 利 益	1,040	5.4	1,765	9.2	2,448	9.3
営 業 外 収 益	181	0.9	139	0.7	185	0.7
営 業 外 費 用	288	1.5	296	1.5	393	1.5
経 常 利 益	933	4.8	1,609	8.4	2,240	8.5
特 別 利 益	460	2.4	508	2.6	1,728	6.5
特 別 損 失	587	3.0	587	3.1	1,781	6.7
税金等調整前四半期(当期)純利益	805	4.2	1,529	7.9	2,186	8.3
税 金 費 用	348	1.8	610	3.1	971	3.7
四半期(当期)純利益	457	2.4	919	4.8	1,215	4.6